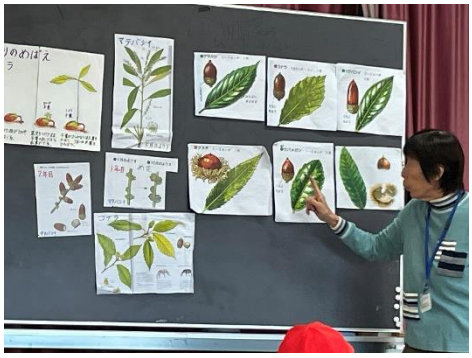
2025年度宝塚市立末成小学校３年生環境体験学習報告（秋季編）
「生き物つながり探検隊」　～校庭で秋を見つけよう！！～

記録：髙橋美千代

日　　時	2025年１１月 4日（水）９：20～12：１０　　天候　晴れ
場　　所	末成小学校　多目的室と校庭と教室
目　　的	「生き物つながり探検隊」第2弾です。1回目の武庫川の生き物探検は雨予想の為座学になりました。2回目は、秋の校庭の探検です。どんな発見があるでしょう。校庭で秋を見つけましょう。 ・生き物はどんな様子をしているでしょう。　・どんな実や種を付けているでしょう。 ・生き物同士どんなつながりを持っているでしょう。 ・ドングリにはいろいろな種類があることを知り、ドングリ図鑑を作ろう。
児　　童	１組 岸永先生 児童37名（欠席4名）　２組 林先生 児童37名（欠席2名）　（他1名）
MNC スタッフ	総括　樋口　村上・鹿本・八尋・今西・沼田・中尾・木茂・溝部・高山・新宅・小山 仲谷・石堂・足立・吉田・小西・髙橋美　（計 18 名）
スケジュール	９：00　MNCスタッフ３Ｆ多目的室集合　９：20　児童初めのあいさつ ９：25　ドングリの話（小西）　９：45　種子散布の話（高橋） 10：05　校庭で秋を見つけよう！　10：55　校庭での観察終了 11：20　ドングリ図鑑作り　11：50　まとめ・児童感想発表　12：10　終了
ドングリの話 種子散布の話 （多目的室）	小西さんが、満開のキンモクセイを子どもたちに見せて秋を感じてもらう。そして、カクト付きのマテバシイの実物を見せ、リスが種子散布を担うと説明。22種類あるうちの、今回作成する6種類のドングリや葉っぱ・カクトを見せて違いに気づかせる。 植物の種子散布は、絵を見せながら進めていく。動物や風・水によってタネを遠くまで運ぶ工夫を知らせる。また、世界で1番大きいタネのアルソミトラのグライダーを見せるとおお喜びとなる。恐ろしい形をしたライオンゴロシ、ツノゴマなども興味津々であった。
校　庭　探　検	校庭では、1組と2組とに分かれ反対方向から観察をする。アカマツのマツボックリのタネに気づかせると、子どもたちはマツボックリ探しを始める。ダイオウショウが樹上にたくさんあり、それを見た子どもたちは先を争うように拾い合う。ヌスビトハギなどひっつきむしを服に付け、種子散布に寄与。モミジの木のプロペラをとったり、その下でスタッフから配られたモミジを飛ばしたりする。プロペラのようにくるくる回ると何度もチャレンジしていた。カリンやバッタ、ナンテン、アラカシなどで袋いっぱいになった。
ドングリ図鑑づくり （各教室）	最初はダンボールの紐通し。樋口さん・小西さんの声掛けで進めていく。そして、ドングリの名前シールを貼り終え記名すると、ようやくアラカシが配られる。カクトと実を横に並べたり、カクトを被せて一体化させたりしていた。ボンドの扱いにも慣れてきたようである。
児 童 の 感 想	・植物に色々な知恵があるのが分かった。　・校庭にヨモギがあったのでびっくりした。 ・色々な事が知れて良かった。　・ドングリに種類があることが分かった。 ・コナラが想像以上に細長かったのでびっくりした。
所　　感	今年の暑さのせいか、葉っぱの色付がよくない。それでも子どもたちは木の実を集めたりして楽しんでいた。秋を少しでも感じてもらえたようである。校庭へは 15 分遅れの集合となる。（先生が子どもに休憩時間を知らせ、多目的室に戻ってくるように指示したため） 70 名近くが揃うと、前に立って話す位置などに苦労する。両サイドの子どもたちはホワイトボードが見にくく集中できなかった。それでも実物（マテバシイ・オナモミ・アルソミトラ・ライオンゴロシ・ツノゴマ）などは喜んで見ていた。もう少し工夫が必要である。



ドングリの形や葉っぱの違い
わかるかな～？

ライオンゴロシ　イタイッ！！

藤棚にフジの実が

ダイオウショウが鈴なり！！

たくさんの秋を見つけたね

モミジのプロペラ　とって～！

ドングリの実とカクトを別々に貼った

ドングリ図鑑の完成！

ドングリの実にカクトをかぶせた

アラカシ　とって～！

モミジのタネ　クルクル～！

オンブバッタ　ゲット！